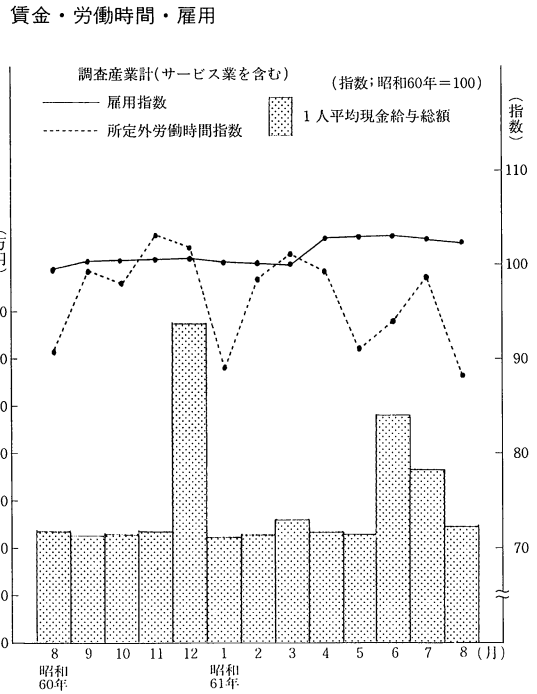
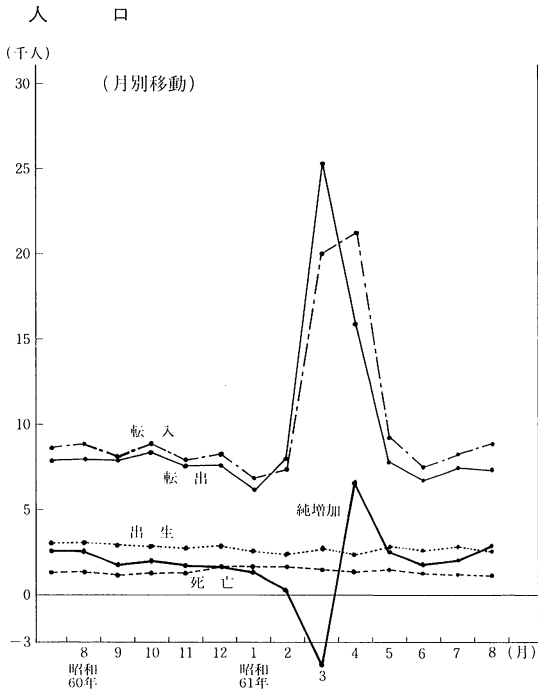
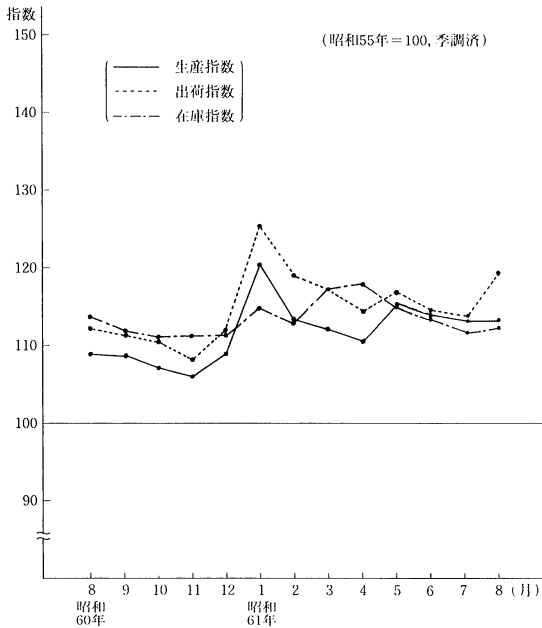


● 今月の主な動き

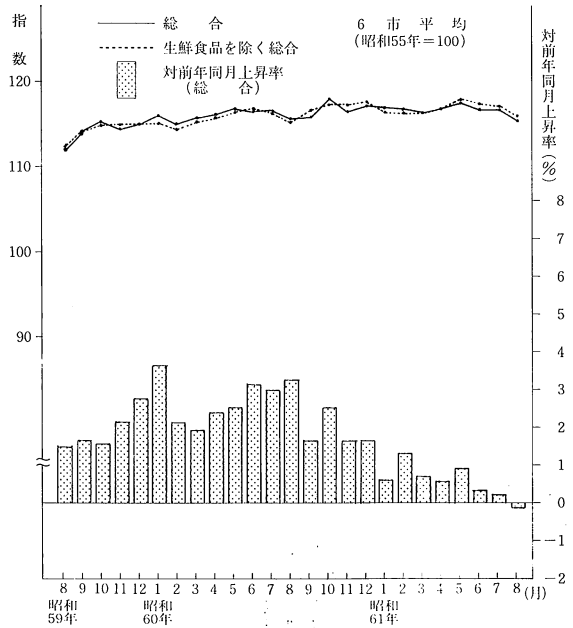
今月の主な動き



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし 企画部統計課

■ 人 口 (9月1日)

本県の人口は、8月中に2,876人増加し、9月1日現在で2,744,372人(男1,367,910人, 女1,376,462人)となった。

内訳は、自然動態で1,449人(出生2,705人, 死亡1,256人), 社会動態で1,427人(転入8,894人, 転出7,467人), それぞれ増加した。

市町村別では、増加が15市63町村, 減少が4市8町村, 増減なしが2村である。

世帯数についても、689世帯増加して、769,302世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (8月)

1. 平均賃金の推移

8月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は243,090円で前月に比べ32.5%減(前年同月比3.3%増)であった。

このうちきまって支給する給与は230,153円で前月に比べ1.6%減(前年同月比2.3%増)であり、特別に支払われた給与は12,937円で前年同月に比べ2,591円増であった。

このうち所定内労働時間数は145.9時間で、前月に比べ10.6%減(前年同月比1.2%減)であり、所定外労働時間数は16.0時間で、前月に比べ10.1%減(前年同月比3.1%減)であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は161.9時間で、前月に比べ10.5%減(前年同月比1.3%減)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると102.4で、増減率は前月に比べ0.5%減, 前年同月に比べ2.7%増であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (8月)

本県における昭和61年8月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が113.4, 出荷が119.5, 在庫が112.2で前月比は、生産が前月と同様, 出荷が4.6%の上昇, 在庫が0.6%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が4.5%の上昇, 出荷が6.6%の上昇, 在庫が1.3%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、繊維工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、輸送機械工業、化学工業等が低下した。出荷では、鉱業、その他工業、繊維工業等

が上昇し、石油・石炭製品工業、輸送機械工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、木材・木製品工業、窯業・土石製品工業等が上昇し、鉱業、輸送機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、その他用生産財、建設財等が上昇し、非耐久消費財、資本財等が低下した。出荷では、非耐久消費財、鉱工業用生産財等が上昇し、耐久消費財のみが低下した。在庫では、その他用生産財、建設財等が上昇し、非耐久消費財、資本財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (8月)

昭和61年8月の茨城県消費者物価指数は、総合で115.4(昭和55年=100)となり、前月比△0.9%, 前年同月比△0.1%の下落となった。

今月上がった主な項目……魚介類4.9%, 野菜・海藻1.9%, 他の教養娯楽1.6%, 油脂・調味料1.0%

今月下がった主な項目……衣料△19.4%, シャツ・下着△14.5%, 生地・他の被服類△4.6%, 果物△2.1%, 身の回り用品△1.9%

生鮮食品を除く総合は115.8となり、前月比△1.2%の下

落, 前年同月比0.5%の上昇となった。

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	115.4	△0.9	△0.1	保健医療	118.7	0.1	1.5
食料	115.6	0.7	△1.0	交通通信	109.2	△0.1	△2.5
居住	121.5	0.0	3.0	教育	146.0	0.0	4.1
光熱・水道	101.1	△0.5	△6.6	教養娯楽	119.8	1.4	1.1
家具・家庭用品	110.3	0.1	△0.2	諸雑費	118.1	△0.3	3.1
被服及び履物	106.7	△13.7	1.8	生鮮食品を除く総合	115.8	△1.2	0.5